

市民協働について

1 経緯（市民協働の進捗）

本公園は、基本構想及び基本計画の段階から、市民、NPO、企業など多様な主体が公園の計画・整備や管理運営において、様々な形で参加・協働できることを目指しており、基本方針に「多様な主体の参加・協働と交流」を掲げ、以下のとおり取組を進めてきた。

○ 平成 27 年～平成 28 年度

- ・ 協働体制検討ワーキンググループを立ち上げ、公園供用時の管理運営・市民協働体制の検討、市民協働ワークショップの企画立案等を実施。
- ・ 市民協働ワークショップを開催し、公園の利活用や協働の取り組みについて意見交換を実施。

○ 平成 29 年度～現在

- ・ 市民協働グループの募集を開始し、マツやハナミズキの植栽など、公園管理者とグループが連携した取組のほか、公園管理事務所開所記念イベント、見どころマップ制作、ウェルカム動画制作などの複数グループが連携した取組の試行を実施。
- ・ 現在の登録グループ数は 29 団体。

2 活動状況

(1) 協働グループ活動実績

① 個別のグループの活動例

- 植栽：プランターの植え替え作業、スイセンの植え付け
- 自然観察：野鳥観察
- 伝承・語り部：語り部ガイド、観光ガイド、防災訓練



写真1 スイセンの植え付け

写真2 プランターの植え替え

② 複数グループが連携した活動

【令和4年度】

- あるこうえんイベント
 - ・ 公園内を歩いて、来園者に紹介したい魅力を発掘して、グループ毎に発表。
 - ・ リーフレット作成実行委員会の他、市民や行政関係者等 24名（大21、小3）が参加
- 公園リーフレットの作成
 - ・ 公園の随所にある魅力について、市民目線で紹介するためのリーフレットを作成
 - ・ 水辺・絆プロジェクト（東北地方整備局・（一社）東北地域づくり協会）の補助金活用
 - ・ 公園ホームページにも掲載（[高田松原津波復興祈念公園 \(iwate-fukkokenen-park.jp\)](http://iwate-fukkokenen-park.jp)）



写真3 あるこうえん散策風景



写真4 あるこうえん発表風景

【令和5年度】

- たかたのたから川原川で遊ぼう！イベント
おやこの広場きらりんきつず、気仙川漁業協同組合、川原川ファンクラブの協力を受け、以下のイベントを開催。当日参加者は開催側22名、参加側大人・子供合わせて12名。
水辺・絆プロジェクト（東北地方整備局・（一社）東北地域づくり協会）の補助金活用
 - ・ 気仙川のめぐみを味わう（アユの塩焼きとシラウオ汁）
 - ・ 川釣り入門体験（気仙川漁協が指導役）
 - ・ 原っぱ遊び（水鉄砲、シャボン玉、凧揚げなど）

